

埋蔵文化財発掘調査事業

1 前中西遺跡発掘調査

- (1) 期間 平成 21 年 6 月～10 月
- (2) 場所 上之地内
- (3) 原因 上之土地区画整理事業街路築造工事
- (4) 面積 約 1,355 m²
- (5) 概要

前中西遺跡は、平成 8 年度から上之土地区画整理事業に伴い発掘調査が続けられてきた遺跡で、弥生時代の重要な遺跡として注目されている。

今回調査の遺跡の主体となる弥生時代は、これまでの調査により遺跡のほぼ中央を蛇行して流れる衣川という河川を境に北側に竪穴住居跡などの集落跡、南側に方形周溝墓などのお墓が広がっていることが徐々に明らかになってきている。

今年度調査した地点は衣川の北側にあり、弥生時代中期末から後期初頭（約 1,900～2,000 年前）の竪穴住居跡 15 軒や溝跡、土坑などが見付き、これらの遺構からは大量の土器や石器が見つかった。

前中西遺跡における弥生時代の竪穴住居跡は、過去の調査分も含めるとおよそ 50 軒になることから、本遺跡の弥生時代集落跡は大規模なものであったことが想定され、今回の調査地点付近が集落跡の中心であったと思われる。



弥生時代の竪穴住居跡
から出土した完形の壺

2 前中西遺跡発掘調査

- (1) 期間 平成 21 年 7 月～8 月
- (2) 場所 中西四丁目地内
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 面積 約 120 m²
- (5) 概要

調査では、弥生時代中期（約 2,000 年前）の方形周溝墓 1 基のほか、炉をもつ竪穴住居跡 1 軒、溝跡、掘立柱建物跡などが発見された。方形周溝

墓とは、周囲に四角に溝をめぐらし、その内側を高く盛り土をして造った、弥生時代から古墳時代にかけて造られたお墓である。この方形周溝墓は、すぐ東隣で3基発見されているが、これで合計4基確認されたことになる。また、土器を棺につかったお墓も確認されていることから、この周辺は当時お墓をつくったエリアであったことが推定でき、今後のさらなる発見が期待される。



方形周溝墓全景

3 西別府館跡発掘調査

- (1) 期間 平成21年9月～10月
- (2) 場所 西別府地内
- (3) 原因 個人住宅建設
- (4) 面積 約72㎡
- (5) 概要

西別府館跡は、平安時代末から中世にかけての別府氏の館跡と伝えられている遺跡であるが、今までの調査では、奈良・平安時代の集落跡や中世の火葬墓が発見されているだけで、館跡に直接関係するものは確認されていない。

今回の調査では、奈良・平安時代（8世紀後半～10世紀初頭）の竪穴住居跡3軒、平安時代（9世紀末前後）の土坑墓1基などが発見された。奈良時代の住居跡のカマドからは、近くにあった西別府廃寺に使われたと考えられる瓦が出土したことから、このお寺と何らかの関係がある人たちの住居の可能性が考えられる。

また、住居のすぐそばでは、土坑墓という長さ約190cm、幅約45cmと小さなお墓が確認された。骨などは確認されなかったが、副葬品として須恵器壺が2点、灰釉陶器壺が1点出土した。



土坑墓遺物出土状況

4 一本木前遺跡発掘調査

- (1) 期間 平成 21 年 1 0 月
- (2) 場所 上奈良地内
- (3) 原因 送電線鉄塔建替工事
- (4) 面積 約 7 m²
- (5) 概要

一本木前遺跡は、平成 1 0 年度から 5 か年にかけて調査され、古墳時代前期から平安時代までの 5 0 0 軒を超える竪穴住居跡が確認された大集落遺跡である。

今回の調査では、この集落域がさらに東へと広がることが確認された。古墳時代後期（7 世紀後半）の竪穴住居跡が 1 軒発見され、一部の調査であったが、土師器坏・甕・甑、須恵器坏などのたくさんの土器が出土した。住居跡の遺存状態は良く、壁の高さは約 7 0 cm もあった。また、この時期の集落の分布状況は、今回の調査箇所周辺にのみ分布しているという以前の調査からの特徴と合致していた。



竪穴住居跡遺物出土状況

5 前中西遺跡発掘調査

- (1) 期間 平成 21 年 1 1 月～1 月
- (2) 場所 上之地内
- (3) 原因 上之土地区画整理事業街路築造工事
- (4) 面積 約 6 7 5 m²
- (5) 概要

今回は、6 月から 1 0 月にかけて実施した第 1 次調査に続いて、第 2 次調査を実施した。

今回の調査でも第 1 次調査と同じく遺跡の主体となる弥生時代の集落跡（竪穴住居跡 7 軒）が見つかった。この住居跡からは大量の弥生土器壺・甕や打製石斧（土を掘るための石器）などが出土し、この他にも石で作られた長さ 3～4 cm 程の鏃（やじり）なども出土した。

今回の調査地点は、第 1 次調査地点とは約 4 0 0 m 離れていることから前中西遺跡における弥生時代の集落跡は、大規模かつ広範囲にわたって営まれていたことが明らかになってきた。



弥生時代の竪穴住居跡を発掘している様子